

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市大原野の杜の運営について

当施設は、平成14年に知的障害者の入所施設として開設し、現在は50名の方が入所されています。日中は生活介護事業として、入所されている方に入浴サービスや創作活動、余暇活動など支援サービスを提供しています。併せて短期入所事業も行っています。

### 当施設の収入と支出

<当事業所の利用者数>  
主に知的障害者 50名＋短期入所5名  
令和元年度 年間開所日 366日  
令和元年度 施設入所延べ利用者数 18,773人

#### <支出>

総額 2.53 億円

利用者1人当たりの運営経費 13,480円 (A)

人件費 9,350円	事業費 2,370円	事務費 1,560円	少額修繕費 120円	その他 80円
---------------	---------------	---------------	---------------	------------

#### <収入>

利用者1人当たりの収入 1,800円 (B)

総額 0.3 億円

総額 2.23 億円

(A) - (B)

差額 11,860円 (88%)

市民の税金で負担 (公費で負担)

利用者負担金 1,450円 (11%)	その他 170円 (1%)
---------------------------	---------------------

いずれも概数  
10円単位で四捨五入

- 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、現行の利用料金等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様にご納めいただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。